

警察庁、国土交通省及び環境省同時発表

平成19年10月31日
エコドライブ普及連絡会

警 察 庁
経 済 産 業 省
国 土 交 通 省
環 境 省

エコドライブ推進月間について ～地球と財布にやさしいエコドライブを始めよう～

エコドライブ普及連絡会では、昨年度に引き続き、11月を「エコドライブ推進月間」とし、第40回東京モーターショー2007でのエコドライブ普及事業や講習会等積極的な広報を行い、エコドライブの普及・推進を図ることとしております。

また、エコドライブに関する認知度調査を実施したところ、約8割のドライバーがエコドライブを認知している等の結果となりました。

1. エコドライブ推進月間について

エコドライブ(環境負荷の軽減に配慮した自動車の使用)の取組については、昨年策定した『エコドライブ普及・推進アクションプラン』に基づき、警察庁、経済産業省、国土交通省及び環境省と連携し、普及促進を図っているところであります。

今年度も昨年度と同様、行楽シーズンであり自動車に乗る機会が多くなる11月を「エコドライブ推進月間」として、第40回東京モーターショー2007でのエコドライブ普及事業や講習会等積極的な広報を関係省庁及び関係団体と連携して行い、エコドライブの普及・推進を図ることとしています。

(1) モーターショーでのエコドライブ普及事業について

第40回東京モーターショー2007においてエコドライブ普及イベントを実施します。今回は、屋外広場(ライフスタイルパーク:西休憩ゾーン内)を利用し、多くの人にエコドライブを認知してもらうことを目的とします。

エコドライブ・コーナー

設置期間: 11月1日(木)～11月11日(日)

時 間: モーターショーの開催時間に準ずる

内 容: 施設の中を2つのゾーンに分けて展開。

・ナビゲーションゾーン

パネル展示、VTRによりエコドライブを紹介。

- ・シミュレーションゾーン
エコドライブシミュレータを3台設置。

エコドライブトークショー

日時：11月3日(土) 13:15～14:30
出演者：司会/DJナイク(TOKYO FM パーソナリティ、ナレーター)
一般ドライバー/大沢あかね
熟練ドライバー/新井敏弘(カーレーサー)
トークショーの様子は、11/25のTOKYO FMで放送予定。

(2) 11月に開催されるイベント及び教習会・講習会等について イベント等の実施について

栃木県

日時：平成19年11月3日(土) 13:00～16:00
場所：宇都宮市馬場通交差点付近
主催：栃木県、栃木県地球温暖化防止活動推進センター等
内容：交差点でのキャンペーン隊による、ドライバー及び歩行者へのエコドライブの実践への周知を行う。

石川県・金沢市

日時：平成19年11月3日(土)4日(日) 10:00～17:00
場所：JR金沢駅東口交差点(交差点キャンペーン; 3日(土) 10:00～15:00)、金沢市中心部(街頭宣伝車; 3日(土) 10:00～17:00)、JR金沢駅もてなしドーム地下広場(イベント3日(土)4日(日) 10:00～17:00)
主催：金沢市、石川県(イベントのみ)
内容：交差点でのキャンペーン隊による周知活動とともに、街頭宣伝車やイベント会場での広報活動を行う。

岩手県

日時：平成19年11月11日(日) 10:00～17:00
場所：国道46号盛岡西バイパスイオン盛岡南SC西側交差点(交差点キャンペーン; 10:00～15:00)、盛岡市中心部(街頭宣伝車; 10:00～17:00)、イオン盛岡南SC(イベント; 10:00～17:00)
主催：岩手県
内容：交差点でのキャンペーン隊による周知活動とともに、街頭宣伝車やイベント会場での広報活動を行う。

鹿児島県

日時：平成19年10月16日～11月15日

場所：鹿児島県指宿市

主催：エコドライブ in 指宿実行委員会（国土交通省九州運輸局後援）

内容：「指宿エコ RUN キャンペーン」として、レンタカーの利用者にエコドライブを実践していただき、レンタカーの返却時の平均燃費の成績優秀者上位10名について九州運輸局のホームページで発表する。

教習会・講習会について

財団法人省エネルギーセンター主催

大阪市（8日、15日、16日）、川口市（9日）、宮城県（14日）
栃木県（17日）、福岡県（17日）、福岡市（18日）、熊本市（27日）

社団法人日本自動車連盟主催

香川県（3日）、名古屋市（4日、18日）、大阪市（8日、15日、16日）、新潟県（10日、17日）、富山県（23日）、熊本県（25日）、千葉県（26日）、秋田市（27日）

その他

ラジオ『初』の全国統一 エコドライブキャンペーン！の実施について

TBSラジオ&コミュニケーションズを基幹局とする Japan Radio Network (JRN) 加盟局 33 局と、J-WAVE など 5 大都市の FM 局で構成される Japan FM League (JFL) 加盟局 5 局と、チーム・マイナス 6 % が連携し、11月1日（木）より、ラジオ『初』の全国統一 エコドライブキャンペーンを実施します。

JRN キャンペーンについて

名称：「地球温暖化防止エコドライブ推進委員会」

期間：平成19年11月1日（木）～11月30日（金）

概要：・「エコドライブ宣言」募集

ハガキや WEB（一部局除く）及びイベント会場などで「エコドライブ宣言」を募集し、宣言してくれたリスナーへ「エコドライブステッカー」を配布する。

・番組内でのキャンペーン告知

各局の番組内にて、キャンペーン告知やエコドライブについてのメッセージを発信する。

JFL キャンペーンについて

名称：「DRIVE with LOVE」

期間：平成19年11月1日（木）～11月30日（金）

概要：・「エコドライブ宣言」募集

各局特設WEBサイトにて、「エコドライブ宣言」を募集し、宣言してくれたりスナーへ「エコドライブステッカー」を配布する。

・特設WEBサイト上での宣言メッセージ・車の写真などの紹介

各局特設WEBサイトにて、ユニークな宣言メッセージや「エコドライブステッカー」を貼った車の写真などを紹介する。

・番組内でのキャンペーン告知

各局の番組内にて、キャンペーン告知やエコドライブについてのメッセージを発信する。

エコドライブ普及啓発映像「エコドライブでストップ！温暖化」の作成について

チーム・マイナス6%では、レーシングドライバー脇阪寿一氏、自動車評論家の菰田潔氏のインタビューを交えながら、エコドライブの具体的な実践を呼びかける映像「エコドライブでストップ！温暖化」を作成しました。同映像は、チーム・マイナス6%関連イベントにおけるブース等で活用するほか、チーム・マイナス6%ホームページからも見ることができます。（エコドライブ普及啓発映像掲載ページ（チーム・マイナス6%HP内） http://www.team-6.jp/spl_movie2）

エコ安全ドライブキャンペーンについて

平成19年8月から12月中旬にかけ、社団法人日本損害保険協会主催のもと北海道にて、ラジオ番組を媒体とした広報活動を行っている。

エコドライブ支援システム（Recoo）について

平成17年12月から運用しているエコドライブ支援システムについて、10月末現在会員が約15,000人登録されており、エコドライブを支援するサイト（<http://www.recoo.jp>）として今後とも会員拡大を実施し、「エコドライブ10のすすめ」とともに普及広報を行う。

2. エコドライブ認知度調査について

運転者の認知度調査を警察庁及び環境省により、本年9月から10月にかけて一般ドライバーを対象に実施しました。その結果、エコドライブを認知している割合が80%であり、実践している項目としては、「ふんわりアクセル『eスタート』」及び「加減速の少ない運転」が多いという結果となりました

(詳細については、別紙参照)。

本件に関するお問い合わせ先(経済産業省):

経済産業省資源エネルギー庁省エネルギー対策課 新保、山田

TEL: 03-3501-1511(代表)内線 4541 03-3501-9726(直通)

経済産業省製造産業局自動車課 前田、竹谷

TEL: 03-3501-1511(代表)内線 3831 03-3501-1690(直通)

なお、本案件については、エコドライブ普及連絡会の関係4省庁において、同時にプレスリリースをしています。

エコドライブの認知度に関するアンケート結果

1. 実施概要

平成19年9月23日（日）～10月15日（月）のうち、のべ6日間、東京、川崎、名古屋、大阪のイベント会場等で、用紙にその場で記入後、調査員により回収する方式で実施

2. 結果概要

(1) 回答者について

①男女比

回答総数1001のうち、性別は、男性519人（52%）、女性450人（45%）、無回答32人（3%）であった。

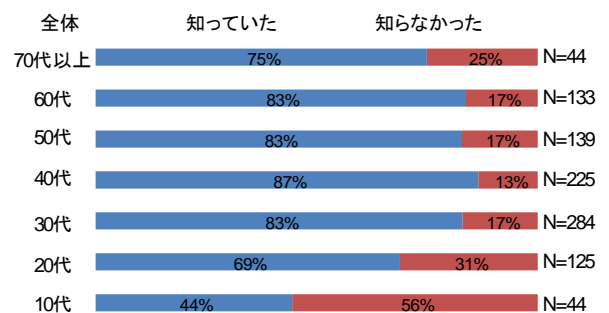
②普段の車の使い方

「休日の買い物、レジャー等の自家用車の利用」が、46%と約半数を占め、次いで、「日々の通勤や買い物等での自家用車の利用」が22%を占めた。業務用途では、「運送・配送などの業務におけるバス、トラックやバンの利用」（1%）、「営業などの業務における乗用車・バンの利用」（3%）の割合であり、「運転しない」のは20%であった。

(2) エコドライブについて

①エコドライブの認知度

全体では、80%から、エコドライブという言葉を知っていたとの回答であった。各年代にわたって、男性の認知度が高い傾向にあり、特に30代男性の認知度は90%を超えている。また、「車を運転していない」と回答したグループの認知度が、他に比べて低かった。



②「エコドライブ」について、実践している内容

「エコドライブ10のすすめ」の項目を列挙したところ、既に実践している項目としては、「ふんわりアクセル『eスタート』（やさしい発進）」（53%）、「加減速の少ない運転」（51%）が半数を超えていた。

項目	割合	項目	割合
1. ふんわりアクセル『eスタート』	53%	6. 暖機運転は適切に	26%
2. 加減速の少ない運転	51%	7. 道路交通情報の活用	17%
3. 早めのアクセルオフ	42%	8. タイヤの空気圧をこまめにチェック	30%
4. エアコンの使用を控えめに	36%	9. 不要な荷物は積まずに走行	29%
5. アイドリングストップ	41%	10. 駐車場所に注意	41%

③今後のエコドライブへの取り組みについて

「全ての項目について実践したい」（30%）、「いくつかは実践したい」（64%）を合わせると、90%以上の方が、エコドライブを今後実施しようと考えている。「実践したくない」と答えたのは、1%（4名）であり、「実践するのが面倒であるため」、「燃費（燃料代）が気にならないため」、「気持ちよく運転したいから」という理由であった。